

- 将来を担う人が育つまちをつくる
- 安心して生活できるまちをつくる
- 賑わいのあるまちをつくる
- 暮らしやすいまちをつくる



発行 ● 町田市 編集 ● 政策経営部広報課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
市役所の代表電話 ● 042-722-3111
市役所の窓口受付時間 ● 午前8時30分～午後5時
ホームページ ● <http://www.city.machida.tokyo.jp/>

町田市
ホームページ
QRコード



今号の紙面から ●6・7面 町田市議会議員選挙・町田市長選挙

地域で取り組む 防災防犯

佐藤団長

平山団員



地域の味方、消防団！

消防団は、「自分たちのまちを、自分たちで守る」という精神に基づき組織された、地域における消防防災のリーダーです。平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担います。

普段はおのおのの職業(サラリーマン・自営業等)に専念し、災害等発生の際には消防団員として消防署員と協力し、その対応に当たるのが主な任務です。



災害や犯罪はいつどこで起こるか予測ができません。だからこそ、皆さん一人ひとりが日ごろから意識を持って生活することが大切です。

皆さんの身近な地域でも、災害や犯罪を防ぐための地道な活動があります。地域で取り組む防災防犯活動に、あなたも参加してみませんか。

問 防災課 ☎724・3218、市民生活安全課 ☎724・4003

仲間、集まれ！

— 平山団員(20歳)は消防団入団2年目の大学生。高校生の時に体験したインターン先での経験がきっかけで入団したそうです。普段はプログラミングの勉強やロボットの製作で忙しい彼に、消防団活動について伺いました。

消防団では、日ごろから応急救護訓練やロープワークの練習などに取り組んでいます。おかげで、知力、体力、そして自信がついてきたと思っています。

人命がかかっているので、平日・休日・昼夜問わず出動要請が来ることがあります。当然、つらいことや厳しいこともたくさんありますが、その分責任感と緊張感をもって取り組みますし、人の命を助けたときの達成感は何よりも勝ります。また、老若男女問わず幅広いコミュニケーションが取れるので、学生だけの空間では学べないことや出会いも、たくさん経験させてもらっています。

— 佐藤団長からもメッセージをいただきました。

「消防団」って知っていますか？生業の傍ら、防火防災救命などの知識技術を得て、地域のために活動している団体です。職業もさまざま、年齢層も幅広く、貴重な経験やステキな出逢いもたくさんあります。皆さんも、自分たちの住んでいる街のために、一緒に活動しませんか。

消防団員の一日

平山団員のとある一日を紹介します。



昼間は大学に通っています。2週間に1度、夜間に地元の安全確認と火災発生防止のための、管内パトロールを行っています。



この日は夜に出火報が入り、すぐにポンプ車で現場に駆け付けました。消火活動と夜間活動を支援する照明活動を行いました。

私たちが守っています

防災編 自主防災活動

防犯編 防犯パトロール



詳細は
2面へ